©2022 YHAL, YITP, Kyoto University
京都大学基礎物理学研究所　湯川記念館史料室

31(朝)

世界連邦大会閉幕で公開講演

第十一回世界連邦世界大会は初めて欧州から日本に会場を移し十九ヵ国約百六十人の外国代表が出席、東京および京都で"精神運動から行動ある世界連邦へ"の第一歩を踏み出す「東京宣言」ならびに国連改組のための「東京提案」を採択した。これらの内容は現実と必ずしもマッチしないものがあるし、世界連邦協会内部の結束についても"甘い友情"だけでいかない面がある。さらに共産圏への接近という大難問にぶつからなければならない。「理想」を高く掲げた点では大いに意義があったが、同時に組織の拡大につれ前途の多難な問題を見出したのもこの大会であった。

閉会した三十日の午後七時すぎから京都会館第二ホールで公開講演のタが開かれ、ラジャン・ネール・インド外相夫人、マラリュー協会事務総長、鮎沢慶国際キリスト教大学教授、デビット・スタンレー米アイオワ州議員の四人が世界連邦運動の意義や大会の成果などをつぎのように強調、満員の聴衆約五百人に感銘を与えた。なお同講演会に出席予定の湯川秀樹会長は過労のため自宅で倒れ、メッセージを送った。

科学を人類の平和と福祉に

ネール夫人

世界の人々が恐怖やさい疑のない生活を熱心に希求するにもかかわらず二十世紀前半の生活は好ましいものではなかった。今日ではフルシチョフ・ソ連首相のことばにもあるように科学と技術の発達で世界戦争に勝つということは戦勝国の国民もうらめしいと思うような勝利を意味する。私たちは発達したこの科学と技術を人類の平和と福祉のために役立て、子供たちが栄える世界をつくるよう手を取り合うことだ。

またその前にアジア・アフリカの国々で飢餓に悩み低い生活水準に苦しむ人々の実情を究明し世界平和の禍根を取り除く必要がある。釈迦の教えを信ずる日本の婦人が世界連邦の確立のために貢献してもらうことをガンジーの非暴力主義を奉ずるインドの婦人を代表して活躍を期待する。

世界法の創設は最小の条件

マラリュー氏

世界連邦の構想は今日ではもはや高い空にかかる星に手をのばす夢物語ではなくなった。それは国家が皆さんの日常生活を干渉するものではないのと同じく世界の各国を束縛するために創設しようというのではない、世界平和を確立するための最小の機構として世界連邦を構想し、最小の条件として世界法、世界裁判所、国際警察力の三つを要請するのだ。理想を各国政府に訴えることはむずかしいことだが、太平洋を泳ぎ渡るほど困難ではなく、「意思」のある限り可能なことだ。軍備がなくとも平和が確保できる方法を各国政府に提示することにより、軍備を撤廃してそのエネルギーを世界の平和と福祉に振り向けさせようというのが私たちの願いだ。

私たちに寄せられた日本の皆さんの好意が世界連邦結成のためにも生かされることを希望する。

現実的段階に一歩踏み出す

鮎沢巌氏

太平洋戦争が広島、長崎の原爆投下という悲劇で幕をおろした後に生まれた国際連合は人類のホープだったが、その後の活動は多くの欠点を含んでいる。その欠点をつくことは平和に対する不忠ではなく忠誠である。今度の大会が画期的なものとなるための具体的、現実的段階に一歩踏み出さなければならないと大会前からいわれていたが、当初の目的は東京宣言および東京提案の採択で十分達せられたと確信している。

国連憲章改正を働きかけよ

スタンレー氏

世界連邦はすべてのものを解決するものではないが、少なくとも各国の自殺行為を制御することは可能だろう。われわれは国連に平和を守れるような力と知識を与えなければならない。

そのためには①法律により戦争のためのすべての軍備を禁止する②世界警察を設置する③たとえ政府の主要人物であっても間違っておれば裁判することができる強力な国際裁判所を設置するの三点を要求すること。そしてわれわれはまず各国民が自国の政府に対し国連憲章の改正のための集会を開くよう働きかけることが必要だ。われわれは歴史の転換から逃げ出すことはできない。歴史はいまその創立者を求めている。

c084-016-046

Federalist
Copenhag

By Y

KYOTO, Aug. 30.—The two-day Kyoto session of the 11th Congress of the World Association of World Federalists closed here at 1 p.m. after approving the Copenhagen Proposal calling on all the member nations to abandon military armament except for a minimum police force.

The delegates elected 20 new executive council members in the general session which opened at 10 a.m. today.

Some 160 delegates from 21 nations and same number of Japanese participants including observers earnestly discussed the proposal.

The gist of the proposal was contained in the Tokyo Declaration adopted on the final day of their Tokyo meeting last Tuesday by the world federalists.

Further discussions will be held by the newly elected executive council members.

"The U.N. should be transformed into a world federation of all nations, with limited but adequate powers," the declaration said.

The delegates, however, deleted Chapter 2 of the proposal which permitted the formation of an autonomous federation or confederation of culturally related nations within the framework of the World Federation.

This was because the majority of the delegates feared that a political force might be established under the guise of a cultural federation within the proposed World Federation.

The conferees at the 11th Congress today decided to hold the 12th Congress in San Francisco in 1965.